

令和6年度 「笑顔の“もと”」奨励賞

所 属	氏 名 (団 体 名)	推 薦 理 由
今渡南小学校	代表委員会	今渡南小学校の笑顔の“もと”「わくわく感」を生み出すため、「楽しいをつくり出す」学校を児童会スローガンとした。そのために「あいさつ」を軸に活動を進め、毎日「あいさつロード」に立ち続け、全校児童の登校を挨拶で迎えた。
春里小学校	もりもと ある 森本 在 すぎやま しおり 杉山 葉理	学校新聞の発行を自主的に続けている。学校生活に関わる委員会に取材した内容を掲載し学校の暮らし方を高めたり、各学級の良さを広めたりしている。また、クイズを掲載して全校児童が楽しめる工夫や配慮もされている。
東明小学校	茶道クラブ	久々利祭りの際に、お客様にお茶を点て、おもてなしをし、地域活動に貢献した。講師の指導をよく聞き、作法等の技術や心得を学び続けた姿は、東明小学校の笑顔の“もと”「すすんで なかまと おわりまで」を具現していた。
広見小学校	かのう なおき 加納 直樹	周りを笑顔にするといった行動を自ら行い、全校の仲間からその姿をたくさん認められるだけでなく、仲間の良さを誰よりもみつめ、文章で伝えてくれた。
桜ヶ丘小学校	ふじわら はると 藤原 陽斗	桜ヶ丘小学校は「笑顔の“もと”」実現のため、あいさつを軸に取り組んだ。その意を汲んで、校長とともにあいさつ活動を行い、誰よりも大きな声で挨拶をするなど「笑顔の“もと”」推進に貢献した。
桜ヶ丘小学校	児童会執行委員会	委員会目標を「だれとでもあいさつをして、たくさんの人と仲良くなり、みんなが笑顔の学校」とし、挨拶の方法を4段階に設定して個人で選択できるよう配慮したり、あいさつ活動活性化週間を実施したり目標達成に向け取り組んだ。
今渡北小学校	日本語指導教室1	日本語を全く理解できない状態であったが、実態を把握し早い時期から指導を始めることで、例年より早く日本語の能力を身につけることができた。目標をもち諦めず粘り強く努力を続けることで、目標を達成することができ、自己肯定感の向上につながった。
今渡北小学校	生活委員会	「人とのつながりを創り出したい」という思いから「挨拶活動」を企画し、改善点を出し合いながらより良い活動を目指した。その結果、挨拶ができなかった児童も少しずつできるようになるなど、明るい表情の児童が増えた。
兼山小学校	金管バンド RANMARU	50年ほどの歴史を持つ金管バンドの活動を通し、諦めないで努力を続けることなど様々なことを学び、その経験が一人一人の「笑顔“もと”」につながっている。また、活気ある地域づくりに貢献している。
蘇南中学校	わたなべ ちなつ 渡辺 千夏	人前で大きな声で話したり、指示を出したりすることを苦手とするが、「自信をもつことができる自分」を目指し、体育大会では仲間の力になりたいと種目責任者を務めた。授業では挙手回数にノルマを設け日々遂行し、後期は班長に挑戦している。
蘇南中学校	きゅうしま あつき 久島 篤生	何事にも一生懸命に取り組み、誰に対しても公正公平に関われる。学校生活では、議員や学習長など自分の仕事に責任を持って仲間のために取り組むことができている。強い芯と優しい心を持っており仲間からの信頼も厚い。
蘇南中学校	えんどう わら 遠藤 和樂	「目的と見通しをもって行動できる自分」を目指し、スピーチコンテストへ挑戦したり、将来の夢への進路実現を目指し行動している。弱い自分と葛藤しながら信念を貫こうとしており、仲間からの信頼も厚い。

所 属	氏 名 (団 体 名)	推 薦 理 由
西可児中学校	生徒会執行部	生徒会スローガン「らしさを魅せる」ために、それぞれの良さや個性を伸ばす催しを企画したり、各学級の「らしさ」を広めたりするなど積極的な活動を行う。学校目標「ひとりだち」の具現化に貢献している。
東可児中学校	生徒会執行部	生徒の良さや課題を見つけたり、全校生徒が互いに褒め合うことができる活動を行った。また、生徒会スローガン「共に」を意識し、目の前にある問題に対して、意見を出し合い解決をしようとする創造の姿がみられた。